

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼夜間部		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	言語聴覚障害概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	401他
担 当 教 員	藤本光輝 浜田広幸	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
言語聴覚障害の種類と特徴を理解し、診断基準と臨床基礎を学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
定期テスト100% (試験素点が60点以上を合格とする)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
授業は資料を配布し、PCスライドで授業を行う、また適宜小テストを行う 参考図書: 言語聴覚士テキスト-第4版- 医歯薬出版株式会社						
《授業外における学習方法》						
事後学習として、授業内で配布される資料や実施される確認問題を適宜見直し知識の定着に努めて下さい。						
《履修に当たっての留意点》						
言語聴覚障害の概要を学び、基本的な言語聴覚士の役割や倫理についても学習して下さい						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	構音器官と役割、構音障害の分類について説明できる。		・ PCスライド ・ 配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく	
	各コマにおける授業予定	構音器官と役割、構音障害の分類について学ぶ。				
第2回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	構音障害の症状・検査について説明できる。		・ PCスライド ・ 配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく	
	各コマにおける授業予定	構音障害の症状・検査について学ぶ。				
第3回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	正常発声に必要な条件、音声障害の原因について説明できる。		・ PCスライド ・ 配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく	
	各コマにおける授業予定	正常発声に必要な条件、音声障害の原因について学ぶ。				
第4回	講義形式 授業を通じての到達目標	音声障害の症状について説明できる。		・ PCスライド ・ 配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく	
	各コマにおける授業予定	音声障害の症状について学ぶ。				
第5回	講義形式 授業を通じての到達目標	音声障害の評価・検査について説明できる。		・ PCスライド ・ 配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく	
	各コマにおける授業予定	音声障害の評価・検査について学ぶ。				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 失語症の言語症状について説明できる。	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
	講義形式	各コマにおける授業予定 失語症の言語症状について学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 失語症候群、純粋型について説明できる。	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
	講義形式	各コマにおける授業予定 失語症候群、純粋型について学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 聴覚障害の種類、原因を説明できる。	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
	講義形式	各コマにおける授業予定 伝音難聴、感音難聴の原因、特徴について学ぶ。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 コミュニケーションの概要について説明できる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 確認問題 	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
	講義形式	各コマにおける授業予定 言語とコミュニケーションについて学ぶ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 コミュニケーションの過程について説明できる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 確認問題 	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
	講義形式	各コマにおける授業予定 コミュニケーションの過程について学ぶ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 言語発達障害の概要について説明できる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 確認問題 	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
	講義形式	各コマにおける授業予定 言語発達障害について学ぶ①		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 自閉スペクトラム症、特異的言語発達障害について説明できる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 確認問題 	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
	講義形式	各コマにおける授業予定 言語発達障害について学ぶ②		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 AACの概要について説明できる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 確認問題 	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
	講義形式	各コマにおける授業予定 AACの概要について学ぶ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 高次脳機能障害の概要について説明できる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 確認問題 	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
	講義形式	各コマにおける授業予定 各種高次脳機能障害について学ぶ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 訓練の概要について説明できる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 確認問題 	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
	講義形式	各コマにおける授業予定 訓練概要(目標設定、目的など)について学ぶ		